

平成30年6月27日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

平成30年度 第1回 地域経済活性化部会

◆ 6月27日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成30年 第1回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成30年6月27日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 2F キャンティ
- ・出席者：副部会長、運営委員、会員等

◎ 地域経済活性化部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 講話

テーマ：「ファミリー世代が考える多摩川の魅力」

講師：株式会社キャリア・ママ代表取締役 堤 香苗 様

4. 経過報告

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

①4/14：第9回“美しき桜心の物語”の語り会

(高幡不動尊金剛寺、平野啓子副会長)【資料1】※

②4/12：JR五日市線「武蔵増戸」駅～網代弁天山～都立小峰公園～

「武蔵五日市」駅：美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守【資料2】

③4/18：高尾・多摩森林科学園(桜のミニ講座付き)：美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守【資料2】

(2) 10周年記念誌完成(4/26)

(3) 多摩川“水”大学講座(5/18、6/15)【資料3】

(4) 東急百貨店「ココエコチャリティー」(5/24～)【資料4】

(5) 平成30年度総会(5/26)【資料5】

(6) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力(5/26～11/30)【資料6】

(7) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈(6/1)

(8) 調布市環境フェア出展(6/2)【資料7】

(9) 第10回多摩川一斉水質調査(6/3)【資料8】※

～以下、当面の予定～

(10) 多摩川流域魅力体験事業(多摩川カヌー駅伝大会)第1回実行委員会(7/3)

(11) 多摩川っ子(第11号)発行(7月上旬)

(12) 狛江古代カップ第28回多摩川いかだレースに参加(7/15)【資料9】

(13) 多摩川“水”大学講座(7/20、9/21)

(14) 第10回炭焼き体験と水辺の交流会(8/21)【資料10】

(15) 第5回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始(9/1～)

(16) 「多摩の物語」の語り会(9/15)【資料11】

(17) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)下刈りイベント(9/22)

5. 意見交換

(1) 平成30年度事業計画について【資料5】

(2) その他

6. 部会長総括

7. 閉会

1. 開会(初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成30年度第1回地域経済活性化部会を始めさせていただきます。今日も蒸していますので、事務局はクールビズで失礼させていただきます。皆さんも上着を脱いで、リラックスして話をお聞きいただけたらと存じます。なお、本日は、平成30年度初めての部会になります。昨年度、部会に出席された会員より、名簿を配ってほしいとの要望を受け、今回より、お手元に座席表をお配りしております。

始めに当フォーラムのテーマソングである「多摩川の歌」の普及策の一環として、本日はボサノヴァ・バージョンでお聞き下さい・・・。

本日はじめて部会にご出席される方をご紹介します。

(大田区 都市基盤整備部 都市基盤管理課 計画調整担当係長 辻 和己 様)

辻と申します。4月に今の職場に異動になり、多摩川関連の仕事に携わることになりました。多摩川は奥が深いものだと思っておりますが、まだまだ勉強不足なので、ご指導いただければと思います。少し大田区の宣伝をさせていただきます。来年3月、羽田空港跡地に緑地公園が完成します。この場所に、多摩川フォーラムからカンヒザクラをご寄付いただけることになっています。引き続き、ご指導をよろしく願いたします。

(株式会社近畿日本ツーリスト首都圏 立川支店 支店長 矢部 国俊 様)

矢部と申します。私どもは、多摩地区の法人様の旅行や観光関連を取り扱う支店で、地域に根ざした店ですので、今後ともよろしく願います。私自身は羽村に住んでおり、羽村の堰まで自転車で10分ほどです。大変桜がきれいなところでもありますので、これから多摩川の魅力を勉強していきたいなと思います。

(藍澤証券株式会社 ソリューション第一部 サブマネージャー 李 文鵬 様)

李と申します。私は中国出身で、日本に来て10年になりますが、3年前に結婚しました。中国では、家を買わないと結婚できない風潮があり、同じく中国出身の妻にほだされ、結婚を機にマンションを買いました。中国では砂漠近くの内陸部に住んでいたため、水のある風景に憧れ、多摩川が見える中古マンションを買いました。中国から年に2回訪れる両親を含め、家族全員が多摩川を大好きになりました。今後ともよろしく願います。

(特定非営利活動法人緑の大地会事務局 高野 源一 様)

高野と申します。緑の大地会は、環境や里山の保全等に努める植木屋の団体で、リサイクルに理解を示す仲間が集まり、社会に貢献していこうとする団体です。私は昨年1月から事務局を務めております。今後ともよろしく願います。

(事務局)

有り難うございました。また本日は、堤副部会長の講話があるということで、西多摩新聞社・記者の日吉様にもご出席いただいております。

続いて資料の確認ですが・・・(省略)。

なお、藪田部会長におかれましては、勤務地の関係で今年度1年間は休会されることになりました。代わって堤副部会長に部会長代理をお願いし、本日の部会の進行をお願いしております。

それでは堤副部会長に開会のご挨拶をよろしく願います。

2. 部会長挨拶

(堤副部会長)

6月末というお忙しい時期にお集まりいただき、心より御礼を申し上げます。いま事務局から説明がありました通り、藪田先生がいらっしゃらない間、事務局と二人三脚で頑張っていきたいと思っております。多摩川フォーラムの活動は11年目に入りますが、私自身は初年度から部会に出席しておりました。10年前はメンバーの中で一番若いほうだったと思っております。今は、国の会議である「規制改革推進会議行政手続部会」の専門委員をやらせていただき、中小企業の政策を考える「中小企業政策審議会」

の本委員も務めております。その中で、中小企業が地域の中で自分たちらしく事業を
発展させていくために、どういった視点が必要であるかを、実体験を元に発言してお
ります。住まいは多摩市で、多摩川中流域にあたりますが、多摩市では、「男女共同
参画社会推進協議会」の委員をしております。

地域経済活性化部会は、他の2つの部会と違い、何にでも形を変えていけるアメー
バ的な面白さを持った部会なのではないかと思えます。現在、ワールドカップ開催中
で、日本チームが活躍しておりますが、ハリルホジッチ監督の後に就任した西野監督
は、巧みなコミュニケーションを用いて選手の能力を引き出し、素晴らしい成績を取
めています。薮田先生は帰ってくるので、ハリルホジッチ&西野監督の状況とは異な
りますが、気持的には西野監督のように、コミュニケーションを取って皆さんの意見
を引き出し、部会自体を活性化させ、帰ってきた薮田先生に「君に任せて良かった」
とおっしゃっていただけるように頑張りたいと思えますので、色々と足りな
いところはあると思えますが、皆さんが主役の部会にしていきたいと思えますので、
1年間よろしく願いいたします。

3. 講話

(事務局)

はい、それでは、先般の当部会の開催通知でご案内したとおり、本日は、株式会社
キャリア・ママ代表取締役の堤香苗様に講師をお願いし、「ファミリー世代が考える
多摩川の魅力」と題するご講話をいただきます。多摩川の魅力について、現状認識や
問題意識を高めていただけたら有り難いと存じます。それでは、堤副部長、よろし
くお願いいたします。

(堤副部長)

今までの部会の講話は、自然や川、水に関わる題材が多かったのですが、地域経済
活性化部会ですので、今日は、ファミリー世代が多摩川をどう考えているかについて、
お話したいと思います。

私は多摩市で株式会社キャリア・ママを経営しておりますが、来月7月で20期目
を迎えます。会社経営の約半分を多摩川フォーラムと共に過ごしてきました。事業と
しては、マーケティングやアウトソーシング、そしてここ5~6年は、女性のキャリ
ア支援も行っております。資料にある通り、2005年頃から女性のテレワーク等、
新しい働き方や情報通信を活用した事業を営んでおります。今では全国で10万人の
会員登録があります。もちろん10万人全てがアクティブではなく、2~3万人がア
クティブな状態ではないかと思っています。会員10万人のうち9割が女性で、既婚
者が3/4強です（もちろん男性や未婚者、障害者もいます）が、20年前からイン
ターネット上で、在宅で仕事ができるシステムを構築しておりました。

多摩川フォーラムが10年前に設立され、多摩川をシンボルに色々な事業をやるということになった際、例えば多摩川夢の桜街道がどれくらい一般に受け入れられるのかどうか、アンケート調査をしてほしいと事務局から依頼され、私どものマーケティングの強みを活かしたアンケート調査を行いました。今日は、原点回帰ということで、もう一回、川についてのアンケート調査を会員に行いました。調査期間は10日しかなく、回収サンプル数も約300件ほどでしたが、設問は以下の通りです。

- 家族構成を教えてください。
- 世帯主の方の年代を教えてください。
- ご家族の子ども年代を教えてください。
- あなたにとって、「〇〇〇川」で思い浮かぶ川を教えてください。
- 「多摩川」を知っていますか？
- 知っている方へお聞きします。「多摩川」のイメージを教えてください。
- 多摩川周辺を訪れることはありますか？
- 多摩川を訪れたことがある方へお聞きします。どのような目的で訪れますか？
- 河川で行われるイベント情報などを知るきっかけは何ですか。
- 多摩川流域を活用して、参加型イベントや観光名所づくりを行うとしたら、どのようなものが考えられますか。

結果は次ページをご覧ください。まず世帯主の年代ですが、30～50代が9割で、いわゆるお子様をお持ちのファミリー層に回答いただいたこととなります。回答の中で面白いと思ったのは、「〇〇〇川」で思い浮かぶ川として、「多摩川」と答えた方が1/4いたことです。全国からアンケートを回収したのですが、95%の人が多摩川を知っていて、知名度が高いことに驚きました。ところが、実際に多摩川周辺を訪れたことがある人は全体の3割程度でした。今回見えてきたポイントとして、多摩川に行ったことがない人ほど、「多摩川は汚い」と思っています。多摩川に行ったことがある若い世代のほうが、「多摩川は綺麗だ」と答えています。多摩川を訪れたことがない人の、多摩川に対するイメージは、「工業用水」「汚い」「ただ広い」といった、漠然としたイメージしか持っていません。楽しそうな川だと思っていないのが実情です。

次に、「河川で行われるイベント情報などを知るきっかけは何ですか」とアンケートしたところ、10年前の回答と比べて大きな違いが出てきました。10年前は圧倒的に行政が発行する「広報」でしたが、現在は「インターネット」と答える人が6割を超えました。今日は行政の方もコンシューマービジネスをやっている方もいらっしゃるので、参考になればと思います。

もうひとつ特徴的なのは、10年前は「口コミ」と答えた方も多かったのですが、今回は口コミと答えた人が少なかったのです。実はここ1～2年、マーケティングのご依頼が増えており、なんでだろう？と不思議だったのですが、恐らく

データマイニング等、データを基本としたマーケティングの限界に来ているのではないかと思います。つまり、バックデートでデータを色々といじってみたところで、これからどうやって面白そうな、ワクワクする情報が伝わってくるのか、検索疲れしたのか、色々な情報が溢れすぎて選べないのでしょうか。3～5年前はキュレーションという形で、その道のプロが選んだ情報を届けるサービスが出てきました。

最近、大阪北部地震がありました。10年前は中部地震があり、情報通信ではドコモが packet 通信を開始した年でした。また東京ミッドタウンができた年でもあり、おねえブームもありました。現在はおっさんブームがきています。超高齢化社会の中で、いわゆるおっさんにあたる30～40代の人たちが、これから春を謳歌していくようなパワーや可能性を秘めています。つまり、ITやバーチャルよりも、リアル感をみんながどこかで求めている、誰が書いたか分からない2chの書き込みではなく、目の前にある自分の知っている人たちと、バーチャルとリアルを両方重ねながら、自分でも納得できるような、自分の周りのリアルを作っていくことが、ちょっとした幸せに繋がるのではないのでしょうか。平成が終わる今の時代、価値観が大きく動いているように感じます。これが、データだけに頼っていたマーケティングから、何か違う形に移行している時代のはざまなのではないのでしょうか。これを良い意味でとらえれば、多摩川の活動も、エコや環境に興味のある人だけのものではなく、今までそんなことに全く見向きもしなかった新橋のおっちゃんたちが、「おもろいやん！」と言って入ってくるような、そんな仕掛けをすることができる可能性があるのかもしれない。ですので、ちょっとアウトサイダーにも寄れる地域経済活性化部会はずごく楽しいと思います。

さて、アンケート結果に戻りますが、「多摩川流域を活用して、参加型イベントや観光名所づくりを行なうとしたら、どのようなものが考えられますか」とフリーワードで質問したところ、主に以下の回答が得られました。

- ・ カヌー
- ・ スポーツやヨガ
- ・ バーベキュー、夏休みを利用したキャンプイベントなど。
- ・ フリーマーケット
- ・ 体験型イベント
- ・ 長距離の流しそうめん大会
- ・ 釣り大会
- ・ 京都の川床のような夏限定の料理をいただけるようなお店
- ・ 新選組と多摩地域に絡めたイベント
- ・ 地産マルシェ

意外と「カヌー」の回答が多いことに驚きました。その他にも「スポーツやヨ

ガ」、「自転車」など、オリンピックの影響もあるかもしれませんが、河川敷で何かアクティブなことをやりたいという声が、幅広い世代から得られました。10年前はウォーキングがブームだったので、「多摩川沿いを歩く」という回答が多かったのですが、今回はそのような回答は少なかったです。

最近、結婚しない方が増えました。ここ10年で、結婚しない人は30%くらい増えています。男性でも1/3は生涯独身と決めているようなので、戸籍上のファミリーではなくても、自分が大事だと思うものを大事にする人たちと一緒に、河川敷で何かができるれば良いという回答を見て取ることができました。

ファミリーや若い世代を中心とした、「バーベキューやキャンプイベント」という回答は、下流域の方が多いです。「フリーマーケット」や「地産マルシェ」も、ファミリーの回答が多かったです。社内で爆笑だったのが、「長距離の流しそうめん大会」です。多摩川でやれたら面白いですね。インスタ映えもしそうです。果たしてそうめんが流れるのかどうか分かりませんが。また、複数名の方が、「京都の川床のような夏限定の料理をいただけるようなお店」と答えました。公共の場所で商売を営むには色々と規制がありそうですが、多摩川ならではの店に集えたら良いと思います。中流域の方から多かった声が、「新選組と多摩地域に絡めたイベント」でした。

色々な声をお寄せいただきましたが、マーケティングをやっている我々からすると、何か行動するきっかけが欲しいのだらうと思います。行動するきっかけをどうやって作ってあげるか、まずは、「多摩川は汚い」と思っている人たちに、「多摩川はこんなに素敵なところなんだよ」と認識し直してもらうきっかけが出てくると良いと思います。私からの話は以上です。ご清聴有り難うございました。

(事務局)

有り難うございました。実は、多摩川フォーラムが設立されて1年目に、堤さんの会社の10万人のネットワークを活用して、「多摩川に関する意識調査」を行っていただきました。サンプル数はもっと多く、集まったデータをまとめ、報告書を作成していただきました。その時のデータが「美しい多摩川100年プラン」のヒントになりました。そして、今日の講話のために、お時間のない中、再度調査をしていただき有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。

(東日本電信電話株式会社 東京西支店 ビジネスイノベーション部 第一バリュークリエイトグループバリュークリエイト担当 担当課長 横地 麻智子 様)

質問ではないのですが、私の世代は小学生の時、社会科の授業で「多摩川は汚い」と教わり、その時のイメージが定着してしまっています。そのイメージを払

拭しなければいけません、実際に来てもらわなければならないので、何か楽しいことができると思います。

(堤副部長)

今回の調査で、若い世代のファミリーは、「多摩川は綺麗だ」と答えています、その一因は、今の小学生が「ザ！鉄腕！DASH！！」「イッテQ！」等のゴールデンタイムのバラエティ番組を視ていることで、お母さんも含めて多摩川が綺麗であることを知っているようです。また、二子玉川に大きなIT企業が移転したことで、二子玉川と多摩川が非常に近くにあることが認識されてきているようです。10年前の意識調査で回答が多かった「コンサート」「マラソン」は今回減っており、代わりに「バーベキュー」「釣り」等、規模感が変わってきているように感じます。

(東日本電信電話株式会社 東京西支店 ビジネスイノベーション部 第一バリュークリエイトグループバリュークリエイト担当 担当課長 横地 麻智子 様)

私の住まいは三軒茶屋なので、たまに二子玉川に行きますが、土日はバーベキューや野球、サッカー、ヨガを楽しんでいる方が多かったです。二子玉川は新しいマンションも多いので、他の地域でも二子玉川のように、住民が気軽に多摩川と触れ合ってほしいなと思います。

(堤副部長)

二子玉川の開発を担当した東急さんはさすがですね。有り難うございました。

(中央大学学員会 東京大田区支部 副支部長 藤井 政男 様)

高尾山は、ミシュランガイドに載ったことで観光客が殺到しています。御岳山も、高尾山に引けを取らない場所ですから、PR次第で観光客が訪れると思います。

(堤副部長)

多摩地域に住む小学生は必ず高尾山・御岳山に登ります。それを苦行に思ってしまうと、なかなか自分で山登りをしようとは思いません。若いファミリーがイメージする多摩川は、比較的中・下流域だったりしますから、普段の多摩川と、訪れる価値のある多摩川と2通りで考えたほうが良いかもしれません。

今日はじめて参加される方もいらっしゃるので申し上げますが、現在、事務局では、インバウンド向けにInstagramをやっており、多摩川の風景等を日々投稿しています。色々な方面から多摩川をPRすることが大事だと思います。ご

発言有り難うございました。

(中央大学学会 東京大田区支部 副支部長 藤井 政男 様)

講演資料の中で、「新選組と多摩地域に絡めたイベント」とありますが、日野市ではすでにそういった動きをしているそうです。

(事務局)

ご意見をいただき、有り難うございました。他にないようでしたら、堤副部長に今一度拍手をお願いします。堤副部長、有り難うございました。

4. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(1)番の①、(9)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

今年度のビデオはできるだけ内製化しております。撮影は事務局の黒米、編集は木村が行っております。いかがでしたでしょうか。(会場拍手) 想定外の拍手をいただき、有り難うございました。(会場笑) 経過報告を続けます。

(1) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業

①4/14：第9回“美しき桜心の物語”の語り会(高幡不動尊金剛寺、平野啓子副会長)【資料1】※

②4/12：JR五日市線「武蔵増戸」駅～網代弁天山～都立小峰公園～
「武蔵五日市」駅：美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守【資料2】

③4/18：高尾・多摩森林科学園(桜のミニ講座付き)：美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守【資料2】

- ・【資料2】をご覧ください。今年もリビング多摩様と連携し、くにたち桜守の大谷和彦さんをガイドに迎え、桜のガイド付ウォーキングを4月12日に実施しました。また、翌週18日の桜ウォーキングについては、今年も京王電鉄様と連携し、多摩森林科学園の吉丸元園長さんのご協力により、事前に桜のミニ講座を実施し、桜の知識や見所について丁寧に解説していただき、大変充実したイベントになりました。

(3) 多摩川“水”大学講座 (5/18、6/15)【資料3】

- ・【資料3】をご覧ください。今年度はとうきゅう環境財団様との共催のもと、5月18日に開講しました。7年目となるこの講座ですが、講師には引き続き、小倉副会長にお願いし、この講座を通じて、水環境に関するリーダーの養成を目指します。

(4) 東急百貨店「ココエコチャリティー」(5/24～)【資料4】

- ・【資料4】をご覧ください。5月24日より、東急百貨店の本店をはじめ10店舗において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコチャリティー」が開催されており、今年もオリジナル・チャリティーグッズが販売されています。これは、東急百貨店様のCSRの一環として企画されたもので、今年で9回目となります。環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺的环境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの活動に役立てています。皆さん、ぜひお早めにお買い求めいただき、フォーラムに還元していただければ幸いです。……ということですが、本日は事務局で多少ご用意がありますので、1個300円になりますが、お帰りの際にお求めいただけたらと存じます。なお、お預かりした金額は、まとめて東急百貨店にお振込みさせていただきます。

(6) 多摩川流域自治体交流イベントラリーに協力 (5/26～11/30)【資料6】

- ・【資料6】をご覧ください。これがイベントラリーの用紙で、中面がスタンプ台紙になっております。皆さん、ぜひお出かけいただき、チャレンジしてみたいかがででしょうか。本件につきまして、狛江市企画財政部政策室企画調整担当主任の池田様より一言お願いします。

(狛江市 企画財政部 政策室 企画調整担当主任 池田 優 様)

例年同様、今年度も実施します。今年は5月26日の「郷土の森あじさいまつり」からスタートし、7月15日の「多摩川いかだレース」等、全部で12のイベントラリーになっています。スタンプ2個以上でプレゼントに応募でき、各自自治体の特産品等が抽選で当たります。皆さんもぜひ会場に足をお運びください。先ほども申し上げた「多摩川いかだレース」は、多摩川フォーラムさんも参加され、大変盛り上がるイベントとなりますので、こちらもぜひご参加ください。

(7) 青梅信用金庫より寄付金の贈呈 (6/1)

- ・青梅信用金庫では、平成28年2月から4月にかけて「多摩川夢の桜街道広

援定期積金」を販売し、募集総額10億円の0.01%に当たる10万円の寄付金を4年間に亘りいただくことになりましたが、6月1日に、3年目の寄付金として10万円の寄付金の贈呈を受けましたので、ご報告させていただきます。有り難うございました。

(8) 調布市環境フェア出展 (6/2) 【資料7】

- ・【資料7】をご覧ください。美しい多摩川フォーラムでは、第46回調布市環境フェアに出展し、多摩川一斉水質調査などの環境への取り組みを、調布市の皆さんに大いにPRしました。

(9) 第10回多摩川一斉水質調査 (6/3) 【資料8】※

- ・【資料8】をご覧ください。フォーラムが直接担当した調査地点のCODの調査結果を速報としてお届けするものです。今回も、上流の山梨県丹波山村から最下流の河口の0キロポストまで、多摩川水系の流域75地点の調査を実施し、山崎運営委員には多摩川下流域10カ所の採水、渡邊環境清流部会長には多摩川上流域2カ所の採水および75カ所の調査にご協力をいただきました。今回の調査は、CODに加え、水中の無機イオンの総量を示す電気伝導率や生活排水に多く含まれている硝酸態窒素、亜硝酸態窒素を、専門の計測器等を使って調査しました。なお、詳細なCOD調査結果レポートは、例年どおり11月に発行する予定です。

～以下、当面の予定～

(10) 多摩川流域魅力体験事業 (多摩川カヌー駅伝大会) 第1回実行委員会 (7/3)

- ・青梅市、羽村市、福生市、あきる野市、昭島市、八王子市の6市と連携して実施する多摩川カヌー駅伝大会の開催日が11月24日に決定しました。これは、東京都市長会の助成事業で2年目に当たります。今年も青梅から昭島まで約17kmのコースで四つの堰を駅伝の中継地とし、カヌー走者がたすきの代わりにカヌーを引き継ぐカヌーマラソン大会を計画しております。美しい多摩川フォーラムも6市に協力してこの事業を盛り上げ、誘客に努めていきたいと存じます。

(11) 多摩川っ子 (第11号) 発行 (7月上旬)

- ・今回で第11号になりますが、今年も7月上旬に発行する予定です。夏休み前に多摩川流域の小・中学校をはじめ、教育関係者に配布し、子どもたちにご案内する予定です。

(12) 狛江古代カップ第28回多摩川いかだレースに参加 (7/15)【資料9】

- ・ 【資料9】をご覧ください。今年も「美しい多摩川フォーラム号」として出艇します。美しい多摩川フォーラム号には、ダニエル・カール副会長、平岡副会長ほか、アテネオリンピック日本体操男子団体金メダリストの富田洋之さんが乗り込み、第1レースに出艇します。皆さん、ぜひ、会場に足を運んで、応援をよろしく願いいたします。

(14) 第10回炭焼き体験と水辺の交流会 (8/21)【資料10】

- ・ 【資料10】をご覧ください。今年も、奥多摩漁業協同組合のご協力のもと、青梅市、おうめ水辺の楽校運営協議会と共催します。竹による炭焼き体験と水辺の安全学習を实践する、親子参加型の交流会を予定しております。なお、7月17日より受付を開始いたします。

(15) 第5回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始 (9/1~)

- ・ 今年の秋も、チラシをリニューアルして、JR東日本八王子支社様と連携し、管轄の駅にチラシを置いていただく方向で着々と進めております。始めに前方のスクリーンをご覧ください。こちらが今年のチラシになります。表と裏面をご覧ください。ご参考までに、今年のチラシ・デザイン(表・案)を映しますので、ご覧くださいませ。なお、大多摩観光連盟様が発行しているPR誌「大多摩四季報」の秋号にも掲載いただけるよう、準備を進めております。今年も、はとバスさんや各旅行会社さんにツアーを組んでいただけるように取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

(16) 「多摩の物語」の語り会 (9/15)【資料11】

- ・ 【資料11】をご覧ください。今年も二子玉川ライズ・オフィス8階のカタリストBAにおいて、「多摩の物語」の語り会を開催します。昨年同様今回も、世田谷区様のご後援をいただき、8月1日の区報に募集記事を掲載いただく方向で進めております。また、東京急行電鉄様の全面的なご協力のもと、8月から9月にかけて、沿線23駅(田園都市線9駅、世田谷線10駅、大井町線4駅)にポスターの掲出をいただく予定です。

(17) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)下刈りイベント (9/22)

- ・ 【資料5】の3ページ目をご覧ください。昨年は9月に10周年事業として桜の記念植樹を実施しました。今年も、桜の成長を確認しながら、周囲の下刈りを行うイベントを計画しております。

(堤副部会長)

事務局からの経過報告で、他にご質問などございますか。ないようですので、意見交換に進めます。

5. 意見交換（副部会長）

(1) 平成30年度事業計画について【資料5】

(堤副部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

(事務局)

【資料5】をご覧ください。まず、収入の部ですが、会費収入は1,950,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、青梅信用金庫様より「多摩川夢の桜街道応援定期積金」販売に伴う寄付金として100,000円、水辺の事業委託金として青梅市様より250,000円を予定しており、前期繰越金2,366,366円と合わせて合計では12,666,366円となります。

一方、支出の部ですが、ホームページ運営費について、保守委託管理費の見直しを行い、大幅に減額しました。また、6月19日にADSL回線から光回線に移行致しました。次に、多摩川夢の桜街道～札所見直しについては、10周年記念事業の一つとして平成29年度に見直し作業に着手しており、携帯マップ改訂費用として756,000円を計上しております。なお、公式ホームページ改訂費用2,862,000円につきましては、平成31年度の予算に計上したいと考えております。「フォーラム・御岳の森」の改修工事については、木柵の老朽化により実施するものです。工事の日程につきましては、緑の大地会様と調整中です。また、東北・夢の桜街道運動として、これまで2,000,000円を計上しておりましたが、事務局を務めていた青梅信用金庫様が、6年の復興支援が経過した平成29年7月に、東北復興支援で一定の役割を果たしたとして事務局を返上したことにより、2,000,000円の拠出金は平成29年度を以って終了することになりました。その後、東北・夢の桜街道運動は、信用金庫業界のご支援を得て運動を継続しております。なお、美しい多摩川フォーラムは、引き続き東北・夢の桜街道推進協議会の構成員として機能しております。また、10周年記念事業の一つとして、平成29年度に予算計上していた100年プラン・パンフレット改訂については、第1号議案でご説明のとおり平成30年度予算に計上しております。この結果、次期繰越金見込額は3,684,366円となり、合計では、12,666,366円となります。

2ページ目は、平成30年度事業計画の主な実施内容になります。経済、環境、教育文化、総合軸に主な事業を区分しております。ご覧のとおり、継続事業が中心とな

ります。3ページ目は平成30年度主な活動予定、4ページ目は平成30年度・会議の予定になります。

(堤副部長)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がございましたら、お願いします。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発グループ 課長 梶田 俊樹 様)

表に記載のある「ビデオレター制作費」とは何でしょうか。

(事務局)

さきほど視ていただいたビデオのことです。今年度からできるだけ内製化しております。公式ホームページにも時系列で掲載しておりますので、お時間のある時にご覧ください。また、昨年10周年を迎え、記念に制作した多摩川のドローン映像は、公式ホームページのトップページに貼り付けておりますので、こちらもご覧ください。

なお、ビデオレター制作費として430,000円を計上しておりますが、完全に内製化が実現した場合は430,000円を事業費に充てる予定です。

(堤副部長)

他にご意見はありませんか。では、私から質問です。ホームページ保守費用を見直したということですが、前年度と比較してどれくらい安くなったのですか。また、多摩川夢の桜街道公式ホームページの改定費用2,862,000円を31年度に計上予定ということですが、この費用に関しても、見直すことができるのかどうか、事務局の見立てを教えてください。

(事務局)

今年度のホームページ保守費用は850,000円となっておりますが、去年は1,070,000円だったと思いますので、220,000円の削減となっております。次にホームページ改定費用ですが、札所88カ所分であること、また、すでに業者さんには金額について再検討をお願いした後の金額であることから、これ以上大幅に金額が変わることはないと考えております。

(堤副部長)

ご説明有り難うございました。他にご意見はありませんか。

(中央大学学員会 東京大田区支部 副支部長 藤井 政男 様)

青梅市の吉川英治記念館が閉鎖になるそうですが、「昔は良かったけれど今はダメ」

というような文化遺産はこれからも出てくると思います。吉川英治記念館のように有名な施設も、現代的な部分で何か付加価値を付けないと、経営は難しいのではないかと思います。非常に残念なことです。

(堤副部会長)

有り難うございました。他にありませんか。

(富国生命保険相互会社 立川支社 市場開発グループ 課長 梶田 俊樹 様)

「平成30年度主な活動予定」の活動はどれも素晴らしく、新しい事業は難しいと思いますが、堤副部会長の講話にあった「長距離の流しそうめん大会」は面白いと思いますし、新選組も面白いと思いますので、全てを事業化するのは無理だと思いますが、少し検討してみても良いのではないのでしょうか。

(事務局)

有り難うございました。確かに検討する必要があると思います。「100年プラン」として柱の事業は決まっておりますが、それだけだと息が詰まることもありますので、遊び的な事業も必要かもしれません。私も「流しそうめん大会」は面白いアイデアだと思いますし、梶田様からは、過去にプロレスを活用した地域活性化の企画もいただきました。皆さんのお知恵をいただきながら、緩やかな合意形成が図れるような新しいイベントを検討してまいりたいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

(中央大学学会 東京大田区支部 副支部長 藤井 政男 様)

新選組は海外でも人気がありますから、地域活性化のために高幡不動尊に新選組ミュージアムを作る等、部会で検討したら良いと思います。

(堤副部会長)

有り難うございました。時間も押し迫っていますので、事務局からその他として何かありますか。

(2) その他

(事務局)

特にありません。

6. 総括・閉会 (副部会長)

(堤副部会長)

皆さんの闊達なご意見は、まるで日本チームのサッカーを観ているような、見事な

パス回しでした。今日は5回ぐらいゴールが入ったのではないかと思います。本来は参加者全員にお話をいただきたかったのですが、次回の部会や10月の部会でも臆せず持論を発していただければと思います。本日は、皆様のご協力をいただき、素晴らしい部会になったのではないかと思います。心から感謝を申し上げます。有り難うございました。

以 上